

報道関係各位



報道用基礎資料

「ソーシャルバリューを高めるための
実践的なノウハウとネットワークを提供します

社会起業大学

<http://socialvalue.jp/>

お問い合わせ先

リソウル株式会社

社会起業大学 運営事務局

TEL:03-6380-8444 / FAX:03-5356-6181

社会性と経済性の両立できる人材育成

社会起業大学では、多様性に富んだ受講生同士が切磋琢磨しながらマネジメントスキルを学ぶ環境の中で、過去の経験や勘にとらわれない広い視点で、「社会性と経済性が両立できる」人材の育成をします。

知る 実践的なマネジメント修得

他ビジネススクールにはない、ソーシャルビジネスのための実践的なマネジメント手法を取り入れ、社会的課題の解決を焦点に合わせたカリキュラム編成がされています。ビジネスの手法を活用して、事業性を確保しつつ持続的な社会的課題の解決を実現するために実践的に学ぶことができるようカリキュラムが設計されています。

見る 社会起業家による講義

現場で実際に活躍している「社会起業家」の方々や、実践の場でマネジメントのコンサルティングを手がけている実務家の方々が講師の中心となっています。

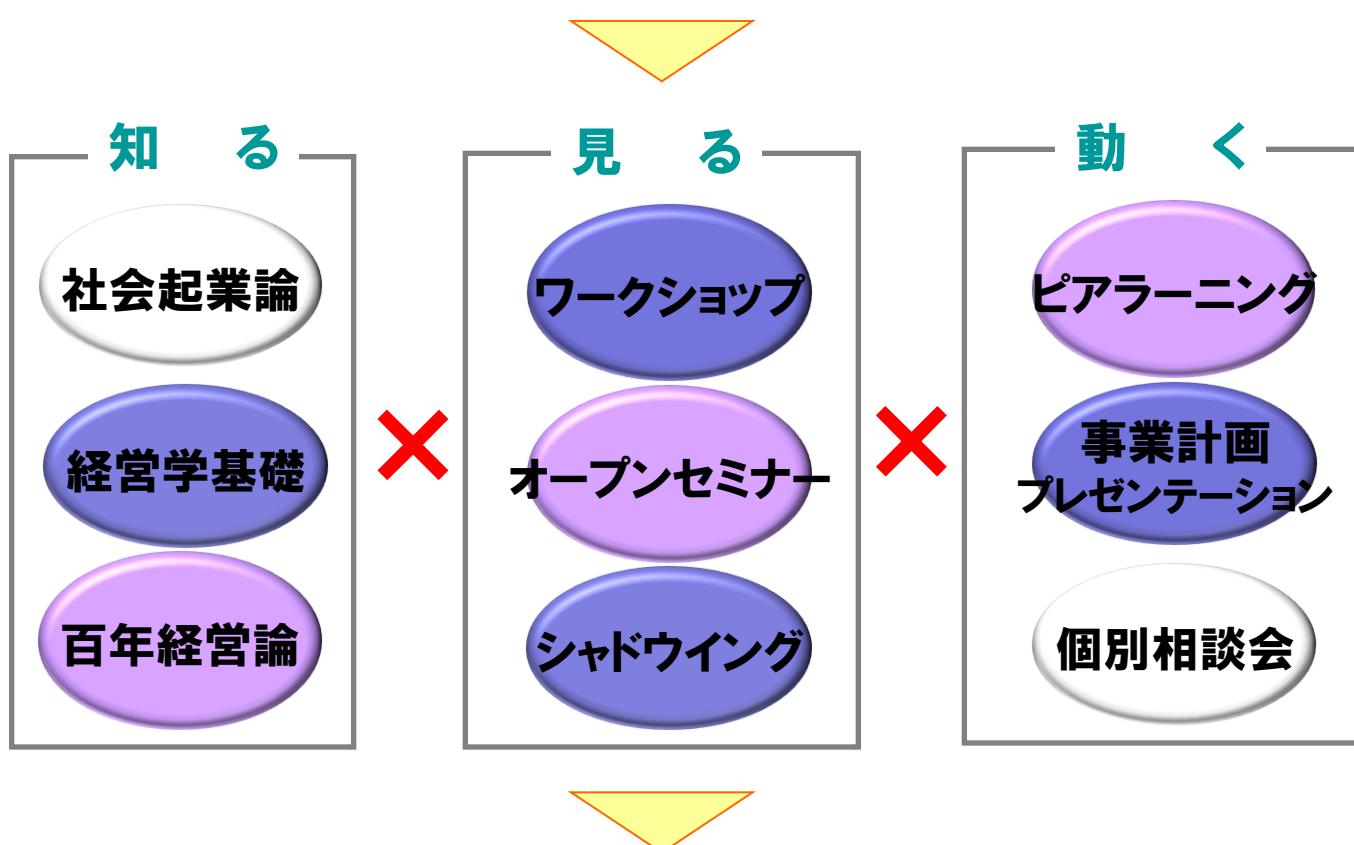
動く 個別相談による事業計画

これまでリソウル株式会社が蓄積してきた「起業支援」のノウハウを提供し、個別にコンサルティングを通じて、新規事業の実現するためのサポート体制が整っています。

カリキュラム

独自ノウハウによるミッションステイトメント設定

事業を通じて本来の自分を見つけ、自分らしくより豊かなキャリアを歩むことを目指します。任意団体として2006年4月からキャリアトレーニングスクールとして活動して以来、様々な業界・業種が参加したデータベースを基づき、エドガー・シャイン博士が提唱する「キャリア・アンカー」概念を用いたキャリア開発を行います。



ソーシャルビジネスグランプリ(卒業式)

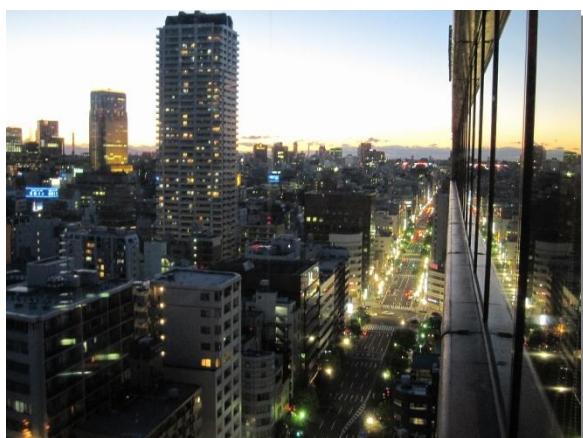
社会起業大学について

～社会起業大学は日本で初めて社会起業家の育成に限定したビジネススクールです～

【社会貢献人材の育成】

社会起業大学^(※1)は、2010年4月に新設した東京都千代田区を拠点に社会人・学生を対象の「社会起業家を育成する」大学です。財政危機などによって公的セクターの手の行き届かない分野において、かつ、通常では利益追求を目的とした民間企業がビジネスの対象とすることが難しい分野において、ビジネスの手法により事業性を確保し、自らの活動により収益が生まれる仕組みを作り、効果的・持続的に社会的課題の解決を図ることができる起業家、すなわちソーシャルアントレプレナー（社会起業家）を育成する大学です。

(※1 学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。
生涯学習を推進するビジネススクールです。)



【一人ひとりが自発的に行動し、 市民活動で溢れる社会を作ります】

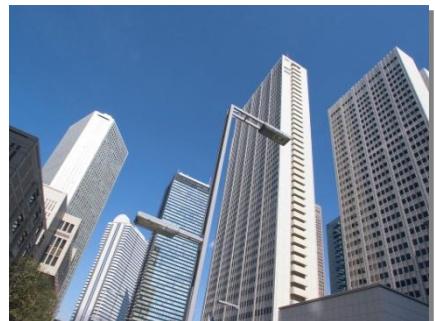
2008年9月の「米国サブプライムローン問題に端を発した国際的金融不安」、2009年1月の「黒人初の米国大統領誕生」、8月の「戦後の日本政治史上初の政権交代」など、1989年のベルリンの壁崩壊とそれに続く東欧革命以来の大きな社会変動の波が押し寄せています。そして、社会に生起する社会的課題は質的にも多様化・困難化し、量的にも増大する一方です。このような大転換期において、新しい社会を創造するために、より社会貢献を志向する「働き方」が、私たちには必要なだと考えます。

社会起業大学では、激動の時代だからこそ「何の為に働いているのか」「何の為に企業活動が存在するのか」などの基本を常に忘れることなく、「働く」の語源である「傍(はた)の人を楽(らく)にする」という本質的な部分へ「原点回帰(リ・ソウル)」できる仕組み作りに挑戦し、社会創造と社会貢献を実現できるソーシャルアントレプレナー（社会起業家）の誕生を促進することによって、社会起業大学としての社会的使命を果たしていきたいと考えています。

社会起業家(ソーシャルアントレプレナー)とは

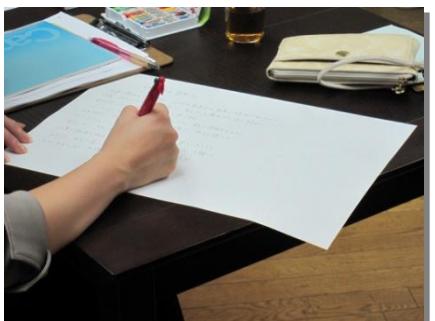
【社会的課題の存在】

人々のライフスタイルや意識の変化、少子高齢化の進展、人口の偏在、格差の拡大による経済環境の変化等に伴い、「高齢者や障害者の福祉」「青少年や教育問題」「まちづくりやむらおこし」「環境保全」「雇用不安やホームレス」「自殺」「海外支援」など、新たな社会的課題への対応が求められています。



【事業性を確保した解決策】

こうした社会的課題への対応は、財政危機や「小さな政府」の要請によって、公的セクター（政府・行政）が対応することは難しい状況にあります。そのため、これまで「市民のボランティア」「運動型の市民団体」「NPO」が課題解決の主体として存在しており、その役割はますます大きくなっています。そして近年、それらに加えて、社会的課題を市民自らが当事者意識を持ち、ビジネスの手法を活用して事業性を確保し、効果的かつ持続的に社会的課題を解決しようとする活動が注目されています。



【社会創造がミッション】

このような活動を行う組織や人は「社会的企業(ソーシャルビジネス)」「社会起業家(ソーシャルアントレプレナー)」と呼ばれ、法人格はNPO法人や株式会社を問いません。そのミッションは社会的課題の解決や社会創造にあり、事業性を確保しながら社会的課題を解決するためにビジネス的な手法を活用するのです。現在でも、CSR(企業の社会的責任)の一環として社会貢献活動を行う企業がありますが、「ソーシャルビジネス」は本業そのものが社会的課題の解決や社会創造である点が特徴です。



【新しい働き方の提唱】

100年に1度の経済不況は「企業は右肩上がりに収益が伸びる」という考えに警鐘を鳴らし、人々へ仕事に対する意識を変化させました。心の豊かさを求める、お金・地位・名誉のために仕事をするよりも、「自分が本当にやりたいことを仕事にしたい」「社会のためになることを最優先して仕事をしたい」と、人々の価値観が移り変わりつつあります。混沌とした時代だからこそ、自分の想い(志)と経済性(お金)をうまく両立させた働き方をすることが改めて求められています。



設立ストーリー ~ 社会起業家に限定する理由 ~



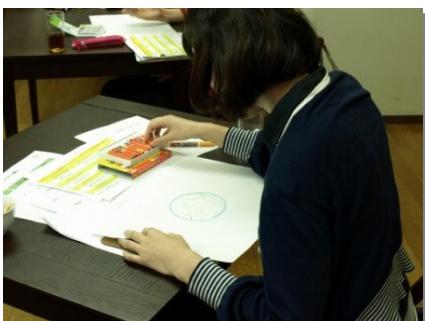
【NPO法人の明暗】

複雑・多様化する社会的課題について、解決をすべて「官」に依存するような社会システムは、もはや継続不可能と言えます。NPOや社会的企業が問題解決の主体として期待される理由です。しかし、日本において社会的企業への理解は浅く、NPOや社会的企業の多くはまだ小規模な段階であり、社会的期待に応える組織力を高めることが急務と言われています。



【世界のソーシャルビジネス】

経済産業省ソーシャルビジネス研究会の調べによると、日本におけるソーシャルビジネスの市場規模は約2,400億円であることに対して、英国における同市場規模は約5.7兆円であり、日本の23.75倍にも及んでいました。また、事業者数においては日本が約8,000団体に対して英国は約55,000団体、雇用規模においては日本が約3.2万人に対して英国は約77.5万人であり、日本のソーシャルビジネスは世界標準から遅れていると言わざるを得ません。



【ソーシャルビジネスのための学習】

社会的課題を解決するためには、継続性が保たれることが重要であり、そのためには「事業として成立させる」事が必須です。今後、益々期待されるソーシャルビジネスを継続・発展的に行っていくために、社会起業大学では経営の知識や社会的課題の現実などを座学やワークショップを通じて学べるよう体系的なカリキュラムを編成しました。「知る」「見る」「動く」という3つの軸を中心に、ソーシャルビジネスに必要な全ての知識とノウハウを得ることができます。



【社会起業家の輩出による社会貢献】

日本においてソーシャルビジネスはまだ萌芽期にあり、それを推進・支援する活動は多くはありません。こうした背景から、私たちは社会起業家の育成、行政や企業の協働パートナーとのマッチングなどを通じて、実際の「起業」を実現する支援を行うために、「社会起業大学」の設立を発起したものです。社会創造と社会貢献を実現できる真の「起業家」の誕生を支援することによって、社会起業大学としての社会的使命を果たしていきたいと考えています。

社会起業大学 学長からのメッセージ

日本人の豊かさとは？



これまで日本は、「企業は無限に成長できる」という考え方に基づき、そこに働く人々を適正な役割分担させて利益を追い求め、大量生産・大量消費という資本主義の時代で急成長を果たしました。しかし、いつの間にか人々の心を疲弊させ、物質的な豊かさを手に入れた代償に、漠然とした将来への不安を抱かせ、多くの人々の「心」を病ませる結果になってしまいました。

だからこそ、これから「働き方」は、資本主義の根本的な転換が必要であり、その為には新しい未来を俯瞰して、世界の中でこれから何が必要なのかを感じ取り、「これから社会はこうあるべきだ」「その未来のために自分に何ができるのか」という明確なビジョンを掲げられる人材が必要だと考えています。

私たち社会起業大学は、社会的課題を市民自らが当事者意識をもち、ビジネスの手法を活用して事業性を確保し、効果的かつ持続的に社会的課題を解決しようとする活動、いわゆるソーシャルビジネス(社会的企業)・ソーシャルアントレプレナー(社会起業家)の普及を目指します。そうすることによって、社会創造と社会貢献を実現できる真の「起業家」の誕生を促進し、社会起業大学としての社会的使命を果たしていきたいと考えています。

「意識が変われば行動が変わる」
「行動が変われば習慣が変わる」
「習慣が変われば人格が変わる」
「人格が変われば運命が変わる」

一人ひとりが自発的に行動し、
市民活動で溢れる社会を作りましょう。

社会起業大学
学長 中村大作

＜中村大作 プロフィール＞

東京生まれ。東京電機大学理 工学部卒業。海外旅行が趣味で、大学時代にすでに20カ国以上を訪れる。卒業後は建設会社を経て、海外留学のコンサルタント会社に入社。年間渡航者1万人以上をサポートする。2003年からNPO団体等の講演で講師を務め、海外留学や自己啓発をテーマに講演活動を行う。2006年からはフィジー専門の留学会社の取締役として草創期を支える。廃校を利用した地域再生モデルで留学事業を行い、フィジー政府の全面的な支援を受けて、3年間で売上10倍の成長を遂げると同時に、フィジーの地域活性化に貢献する。日本では英語圏の留学先として認知を広める。(年間3,000名の送客実績) 2010年4月には社会貢献に繋がる社会起業家(ソーシャルアントレプレナー)を育成する社会起業大学の設立と共に学長に就任。ソーシャルビジネスを育てる起業家の教育に尽力する。著書には2007年に出版した留学支援と自己実現をテーマにした『迷い続ける25歳の退職届』(ブックコム刊)があり、紀伊國屋でも1位を記録する。事業活動以外に特定非営利活動法人留学協会 苦情相談解決委員会 副委員長として活動中の他、法政ビジネススクール所属(法政大学大学院経営学研究科)、日本ベンチャー学会ソーシャルビジネス研究部会の代表世話人を務める。

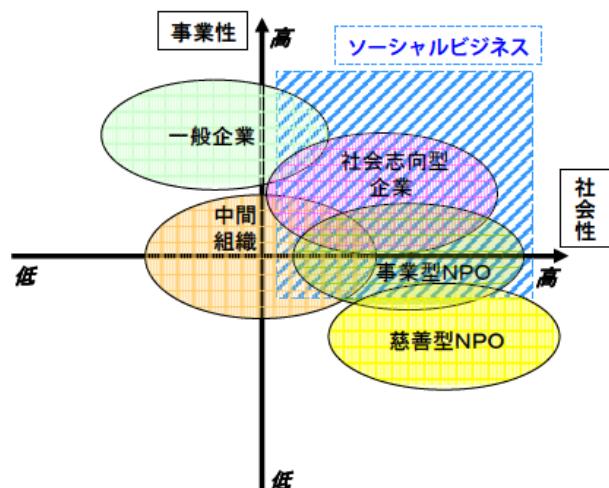
社会起業大学の市場概観

【市場概観】

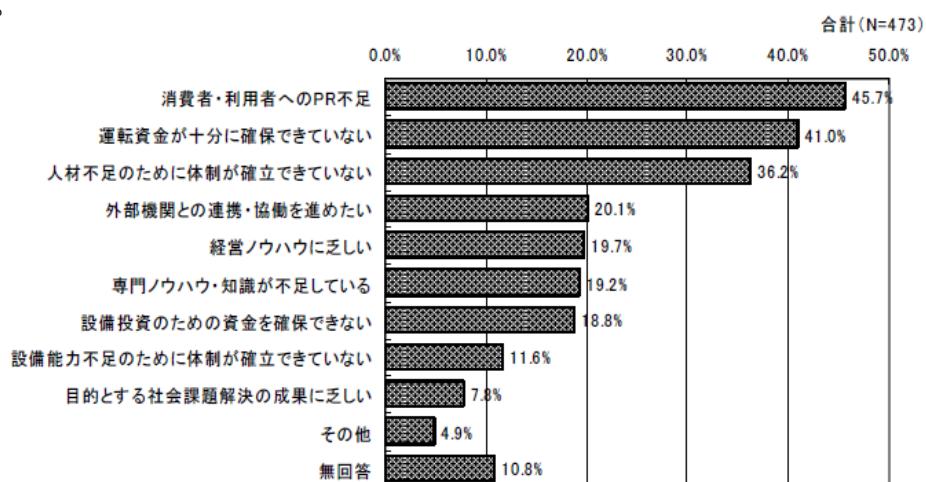
100年に1度の経済不況と言われ、極度の買い渋り的発想からくる日本経済の伸張の鈍りは、業種を問わず我慢の経営を強いられている経済市場からも伺えるよう、更なる拍車が掛かっていると言えます。一方、賃金カットや残業抑制による退社時間が早まりは、就業者の多くに自己啓発意識の向上が芽生えさせ、日々の多忙な労働環境ではできなかった「お習い事」「ダブルスクール」を始める良い機会ともなっています。スクール事業の総市場はNOVAショックで一時的な落ち込みはあったものの、各社のサービス向上の甲斐もあって微増ながら上向き傾向にあり、教育事業の総市場は4兆1,876億円となっています。(出所:総務省サービス業基本調査 その他の教育・学習支援)

また、世界同時不況は「企業は右肩上がりに収益が伸びる」という考えに警鐘を鳴らし、人々へ仕事に対する意識を変化させました。心の豊かさを求め、お金・地位・名誉のために仕事をするよりも、「自分が本当にやりたいことを仕事にしたい」「社会のためになることを最優先して仕事をしたい」と、人々の価値観が移り変わりつつあります。混沌とした時代だからこそ、自分の想い(志)と経済性(お金)をうまく両立させた働き方をすることが改めて求められています。

それを象徴するかのように、社会起業家の知名度は日に日に高まり、特定の社会起業家の知名度においては一般普及化もされている状況であります。経済産業省「ソーシャルビジネス市場規模及び事業者数」によるとソーシャルビジネス市場は2,400億円とされておりながらも、数年後には10倍程の市場拡大がされると予見しています。



ソーシャルビジネスの担い手

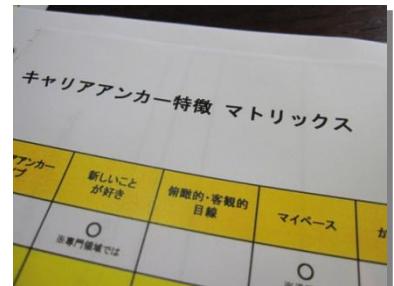


ソーシャルビジネス事業展開上の主要課題

社会起業家に適している3つの特長

＜特長①＞

第一に他ビジネススクールにはない、ソーシャルビジネスのための実践的なマネジメント手法を取り入れ、社会的課題の解決を焦点に合わせたカリキュラム編成がされています。ビジネスの手法を活用して、事業性を確保しつつ持続的な社会的課題の解決を実現するために実践的に学ぶことができるようカリキュラムが設計されています。



＜特長②＞

第二の特徴は、講師陣です。現場で実際に活躍している「社会起業家」の方々や、実践の場でマネジメントのコンサルティングを手がけている実務家の方々が講師の中心となっていることです。



＜特長③＞

そして、他にはない第三の特徴として、これまでリソウル株式会社が蓄積してきた「起業支援」のノウハウを提供し、個別コンサルティングを通じて、本気で取り組む学生の「起業」を実現するためのサポート体制が整っていることです。



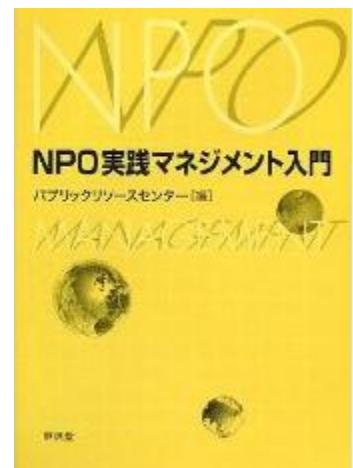
特長① ソーシャルビジネスための実践的な学習内容

社会起業家として必ず必要になる知識を座学で学びます。社会起業は、「福祉分野」「環境問題」「国際協力」「地域活性化」などの課題の解決(社会貢献)を主軸にした、ミッション先行型起業(ミッションドライブアントレプレナー)です。ミッション先行型であるため、社会起業家は、強い「志」と「必ずものごとを成し遂げる実行力」を身につけることが必須です。社会起業大学では、「経営」などの起業に必須である知識についても充分な時間をかけ、座学を通じて惜しみなく提供します。座学を通じて、「社会的価値(志)」と「経済性(お金)」の両立をいかにバランスよく行っていくかを身につけます。

【社会起業論】

社会的企業の社会的役割は、NPO・株式会社を問わず社会・地域問題の解決と社会システムの変革を目指すものです。その担い手である社会起業家の活動事例を通じて社会的活動とは何かを学び、社会貢献を目的とした市民と行政と企業の協働の可能性を探求します。

- 1) 現代日本における社会問題とソーシャルアントレプレナー
- 2) 市民・行政・企業の協働
- 3) ミッション・ベースト・マネジメント
- 4) 経営戦略の策定と実行

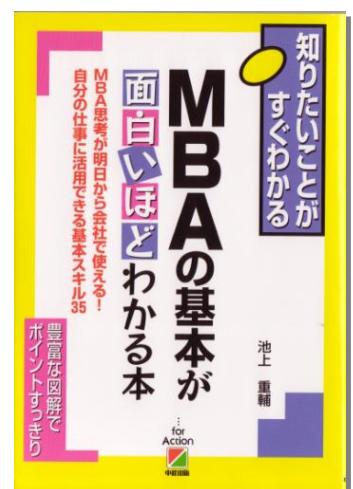


指定教材: NPO実践マネジメント入門

【経営学基礎】

社会的課題の解決をボランティアとして取り組むのではなく、ビジネスの手法を利用して継続的な活動を実施する手段を学びます。新たな社会活動の形を実現するため、体系的な経営戦略・マーケティング・財務会計などの理論と実務を修得します。

- 1) 起業準備と人材開発
- 2) マーケティング実践論
- 3) ファンドレイジングと資金調達
- 4) 財務諸表の読み取りと作成



補助教材: MBAの基本が面白いほどわかる本

特長① ソーシャルビジネスための実践的な学習内容

利益追求型の企業から社会性と経済性を両立させ「心に響く会社」への変革するための理論とノウハウを学び、さらに「世のため人のため」という正しい経営を実践し「大切な会社」を経営している中小企業の経営者たちから直接話を聞くことで、自分がどうすべきなのかの気づきを得て、社会的価値の高い企業への変革を実現させることを目指したカリキュラム内容となっています。

【社会企業論】

利益追求が企業の目的と言われてきた中で、近年「いい会社」として注目を集めているのが社会性と経済性を兼ね備えた社会企業です。では社会企業とは何か、なぜ注目されるようになったのか、社会性と経済性を両立する要件とは何かを事例を通して学び、さらに、利益を追求してきた企業が社会企業に自己変革するための方法論を習得します。

一方で社会企業が直面してきた課題もあります。厳しい企業競争の中で、本来の企業の存在意義である社会への価値提供を継続して行うために、どのような苦労があり、どう乗り越えてきたのか。売上、給与、納税、配当などの経済的な関係を超えた心のつながりを築く経営を目指して課題の検証を行い、長期的な広い視野から学習することを目標とします。

- 1) 現代社会の課題と企業の役割(事例研究)
- 2) 経済価値と社会価値の両立(事例研究)
- 3) 理念と共感のマネジメント
- 4) 社会価値経営の全体像



教材: 日本で一番大切な会社1.2

【社会価値経営学】

経営学の主要項目である経営戦略、人材、マーケティング、財務、環境の基礎をおさえ、利益追求企業と社会企業の経営における相違点を学びます。

多岐に渡る経営課題のつながりを「社会価値」を軸に体系的に理解し、事例に基づく実践的な仕組みや手法を学ぶことで自社の経営を検証します。これを通じて各社の置かれている状況や理念・事業内容によって領域を絞り込み、「社会性、経済性、自社らしさ」を發揮する取り組みを促進することを目標とします。

- 1) 経営戦略と財務・非財務の関係性
- 2) 人材育成
- 3) ソーシャルマーケティング
- 4) 環境マネジメント



教材: 企業の社会的責任[CSR]の基本がよくわかる本

＜講師紹介＞

ソーシャルウインドウ株式会社
代表取締役 鷹野 秀征氏
NPO法人 パブリックリソースセンター 理事

社旗価値経営をテーマに、NPO支援・CSR支援・ベンチャー支援を手掛ける経験を持ち、2010年ソーシャルウインドウ株式会社を設立。

ソーシャルイノベーション学部(社会企業大学)で社会企業論および社会価値経営学の講師に就任。



特長② 経験豊富で実務経験のある講師陣

社会的課題に取り組む際に最も大切なことは、「自分の使命に気づくこと」「自発的に行動できること」「社会に対して、大きな価値を提供すること」「学んだ事を活かせる実行力」であり、そのような人間力を鍛えることが重要です。従って、社会起業大学は、知識の習得だけが最終目的ではなく、知識の習得をベースとした上で、「一人ひとりの個性の活かし方」「リーダーとしてのありかた」「実現可能な事業計画の作成」など、人間力の向上と経営スキルアップに力を入れていきます。

【ワークショップ】

現在「社会起業家」として活躍されている現役経営者を講師としてお招きし、社会起業や事業の内容などについて語っていただき、その後講師と学生を交えてディスカッションを行います。現役で活躍されている経営者のリアルな経験や工夫、苦労、成功事例などを聞くことで、今後の自分のビジネスプランの参考にしていただく講義です。



NPO法人チャリティ・プラットフォーム
代表理事 佐藤大吾氏

チャリティしたい気持ちと、実際にチャリティ活動を行う団体をつなぐ場を提供。信頼できるNPO・NGOのデータベースやチャリティに関する情報の提供、企業やクリエーターとのコラボレーションプロジェクトの実施など気軽にチャリティができる機会を増やす。

The screenshot shows the homepage of the Charity Platform. At the top, there is a search bar with placeholder text 'おなじの人か、ふつうに世界を変えていくな。' and a QR code. Below the search bar are buttons for 'チャリティとは?' (What is Charity?), 'おなじの世界を変えていくな。' (Change the world with the same spirit.), and 'PICK UP!' (Pick up!). The main content area features a large red banner with the text 'Say LOVE since 2008'. Below the banner, there is a section titled 'Say LOVE' with a sub-section 'since 2008'. The page also includes a 'チャリティメニュー' (Charity Menu) on the left and a 'チャリティ' (Charity) section on the right.



NPO法人ファザーリングジャパン
代表理事 安藤哲也氏

父親支援事業による「Fathering」の理解・浸透こそが、「よい父親」ではなく「笑っている父親」を増やし、ひいてはそれが働き方の見直し、企業の意識改革、社会不安の解消、次世代の育成に繋がると、日本社会に大きな変革を目指し事業展開している。

The screenshot shows the homepage of Fathering Japan. At the top, there is a banner with the text '父親であることは楽しい' (It's fun to be a father) and 'よい父親ではなく笑っている父親」を増やすことそれがFathering Japanのミッションです。'. Below the banner, there is a section titled 'What's Fathering?' with a sub-section 'Fatheringとは?' (What is Fathering?). The page also includes a 'Contents' menu on the left and a 'Fathering' section on the right.



株式会社日本プロバスケットボールリーグ
コミッショナー 河内敏光氏

日本のバスケットボールを活性化することにより、プロフェッショナルかつエンターテイメントあふれるプレーを魅せるとともに、地域社会におけるスポーツ文化の向上と国際化に貢献することを目的として活動する。

The screenshot shows the homepage of the Japan Pro Basketball League. At the top, there is a banner with the text 'Jleague' and 'Japan Pro Basketball League OFFICIAL SITE'. Below the banner, there is a section titled 'Jリーグ最新情報' (Latest information about the J League) with a sub-section 'Jリーグ最新情報' (Latest information about the J League). The page also includes a 'SCHEDULE' section with a table of games and a 'NEXT GAME' section with a table of games.

特長② 経験豊富で実務経験のある講師陣



株式会社みやじ豚 代表取締役社長
NPO法人農家のこせがれネットワーク
宮治 勇輔氏

「東京で暮らしながら実家の農業を応援しよう！」をコンセプトに、旧態依然の日本農業にイノベーションを起こす。



有限会社ビックイシュー 日本代表
佐野章二氏

ホームレスの人の救済(チャリティ)ではなく、仕事を提供し自立を応援する事業を展開している。例えば、大阪では野宿生活者の約8割が働いており、過半数の人は仕事をして自立したいと掲げている。ビッグイシュー日本は働き收入を得る機会を提供することを目的に活動する。



NPO法人green bird 代表
長谷部健氏

原宿・表参道を中心にゴミのポイ捨て問題に関するプロモーション活動を開始する。同年4月の渋谷区議会議員選挙でトップ当選を果たし渋谷区議に。「シブヤミライプロジェクト」「マイケル・ジョーダン・メモリアルコート」、「シブヤ大学」の設立など、数々のプロジェクトを実現している。



ライフバランスマネジメント研究所 代表
渡部卓氏

職場のメンタルヘルスやストレス対策、ワークライフバランス、モティベーション、リラクゼーション等の職場の課題について、産業カウンセラー、MBA、大学講師、IT先端企業や、外資を含む管理職およびベンチャー起業経営など30年に及ぶ職場の現場経験を通して、メンタルタフネス分野の活動を行う。

REFARM これからの農業標準をつくす

リファームの運営会社
イベント情報
プロジェクトの紹介
リファーム農学校
耕作放棄地プロジェクト
メルマガ・会員登録
お問い合わせ
運営団体について

ニュース 10.01.01 あけましておめでたございます。
09.12.25 337件の登録を突破! おめでたす! 謹んでお祝いします。

メルマガ登録 月に2回の情報をお届けします。

THE BIG ISSUE JAPAN ビックイシュー

ホームレスが売る雑誌「ビッグイシュー日本版」
1冊300円で販売。160人が販売者の収入になります。

よあるごくせ English

ビックイシュー日本とは 最新号 バックナンバーリスト 販売場所 今月の人(販売者)

SPECIAL

【絶対地獄】「ビッグイシュー」の16年...文部省が認定化された大失敗、人形団を覆面引き

絶対地獄とは言ひない中間、高士高農山東北農業化が実現するまでの歩みが記載された本が広がっている。この山高農山は1500ヘクタールの土地で大阪府の約4分の1の面積に、年間40億円の収入、約5000人で構成される。年間40億円の収入をもたらす中間、農業法人登録の申請手続きが完了できました。とくにそれが「絶対地獄」は日本として語られてきた。事務局長が高士高農山は地獄で苦労するうちに、「おまえたちはおまえが望むでつながるからで、おまえが止まら

greenbird

グリーンバードとは? ニュース 活動レポート カード/DM/冊物 よくある質問
チーム紹介 スリーカップル お問い合わせ サーブースリスト お問い合わせ
グリーンバード宣言 メディア掲載 リリース情報 お問い合わせ
おもうひ日記 01.04 update OMOTESANDO 12.30 update STUDENT 12.28 update NAGASAKI 12.27 update SHINSHU

01.02 update CHIBA 12.28 update FUKUOKA 12.27 update KUCHIJI 12.27 update SHINSHU

01.01 update SRI LANKA 12.28 update KABUKICHO 12.27 update SHINOKITA 12.27 update SHINSHU

12.27 update OMOTESANDO 12.28 update OMOTESANDO 12.27 update SHINSHU 12.27 update KUMAMOTO

News Headline greenbird 2014.8.26 今季初エコ more

LBM ライフバランスマネジメント研究所の女子学生を対象・ライフバランスマネジメント研究所

メンタルヘルス対策・メンタルヘルス対策・メンタルヘルス対策

・研究所紹介・製品・サービス・セミナー情報・メールマガジン・プレス報報・お問い合わせ

資料請求

ライフバランスマネジメント研究所

2009年10月1日をもって、(株)ライフバランスマネジメントは、(株)アドバッジ・マネジメントと合併しました。今後は(株)ライフバランスマネジメント研究所として、メンタルヘルスケアの一次予防分野の先端的研究に取り組みます。

・LBMからのお知らせ

2009年10月1日をもって、(株)ライフバランスマネジメントは(株)アドバッジ・マネジメントと合併しました。今後は(株)アドバッジ・マネジメントとして、メンタルヘルスケアの一次予防分野の先端的研究に取り組みます。

・過去のセミナー

セミナー詳細

メンタルヘルス対策事例

・メンタルヘルス対策事例

・メンタルヘルス対策事例

特長② 経験豊富で実務経験のある講師陣



株式会社ジャパン・ベースボール・マーケティング
代表取締役 村山哲二氏

2007年にスタートした国内2例目のプロ野球独立リーグで、新潟、長野、富山、石川の北信越4県を舞台として、「北信越BCリーグ(旧称)」を運営。2008年シーズンからは群馬、福井の2球団を新たに加え、リーグ名称を「BCリーグ」に変更し、野球を通じた地域活性化に挑戦する。



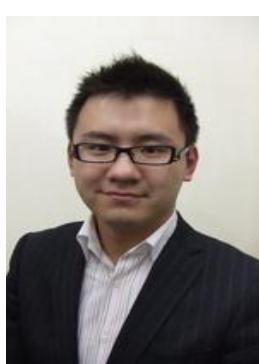
事業創造大学院大学
准教授 赤木弘喜氏

日本体育学会、体育スポーツ経営学会、日本スポーツ産業学会、日本抗加齢学会、スポーツマネジメント学会、日本ベンチャー学会、地域活性学会など幅広い活動でスポーツビジネスの可能性を探求しつつ、事業創造大学院大学で教鞭をふるう。



株式会社明天
代表取締役 貝沼航氏

日本を代表する会津漆器職人の精銳たちが集い、伝統工芸のネクスト・ステージを目指して活動しているプロジェクト「會's NEXT(あいづねくすと)」を主催して会津の活性化に挑む。



NPO法人G-NET
代表理事 秋元祥治氏

意欲ある若者に地場産業や地域資源を活かした挑戦機会を提供し、起業的な人材育成と同時に、岐阜・三重・愛知の地域活性化を目指す。

特長② 経験豊富で実務経験のある講師陣



法政大学大学院 政策創造研究科
教授 坂本光司氏

「現場で中小企業研究や、頑張る中小企業の支援をする」をモットーに、全国6300社を超える中小企業を訪問し、会社経営とは「5人に対する使命と責任」を果たすための活動と定義づけ、「いい会社」を世に認知させ、価値を高めることに尽力している。主な著書に「日本で一番大切にしたい会社」がある。



撮影中

株式会社たこ満
専務取締役 平松きよ子氏

静岡県で社員満足度、顧客満足度No.1の遠州という地域にこだわり、遠州の素材を使い、遠州をテーマとしたお菓子を作り続けている。経営理念は、「一人のお客様の満足と一人の社員の幸せを」で顧客と社員双方の満足度を高める経営革新にひたすら尽力している。



株式会社シェアードバリュー・コーポレーション
代表取締役 小林秀司氏

「理念のもつ無限の力を信じて、最高の社員満足と顧客感動をうみだす」ことを経営理念として、理念経営の導入支援を行い、理念経営に成功し、社員が働きやすく且つ顧客満足度の高い会社へと導くことに尽力している。著書に「元気な社員がいる会社のつくり方」がある。



特長② 経験豊富で実務経験のある講師陣



株式会社アバンティ
代表取締役 渡邊智恵子氏

オーガニックコットンを無農薬の有機栽培綿の輸入販売、糸～生地～製品まで、一貫した企画製造販売を行う。人の肌に触れて毎日使うものは、安心で安全なものであってほしいとの願いから、原綿栽培から最終製品に至るまで、NPO法人日本オーガニックコットン協会の厳しい基準に沿い、全ての工程で顔が見える物づくりを行っている。

オーガニックコットンを通し心と身体、そして地球にやさしいライフスタイルを提案している。



有限会社ワツツビジョン
代表取締役 横井暢彦氏
第2回CSR大賞グランプリ(主催:日本財団)

愛知にある8名の従業員のタイルメーカー、同社は1995年に設立、「子育てしながらでも働くことができるやさしい作業環境づくり」をモットーに、手づくりのタイルメーカーとして業界の注目を集めており、地域とのかかわりを深めるため陶芸教室などのものづくり体験学習や研修会開催に力を入れている。

横井社長は「経営者が覚悟を判断すれば地域や社員に喜ばれる経営は誰でもできることだ」と語る。



第4回CSR大賞グランプリ(主催:日本財団) 本年度CSR大賞受賞企業

市民が直接、企業のCSRの取り組みを応援する目的で設立された日本で初めての「市民が選ぶCSR大賞」です。

(主催:日本財団)

本年度の大賞企業をお招きします。
※受賞企業の発表は2010年10月のため
現時点では未定となっております。



順不同: その他、多数の講師在籍

特長② 経験豊富で実務経験のある講師陣

【シャドウイング】

シャドウイングとは、実際にNPOなどで社会貢献事業をされている経営者と共に行動し、その臨場感を体感する講義です。シャドウイングは教室で行う座学ではなく、現場に参加して理解を深める「一日弟子」です。学生一人ひとりが実際に経営者の元に出向き、経営者の実際の働きぶりや事業に関わる人達とのコミュニケーションの取り方、事業の優位性と課題などを自分の目で見て現場で体感することで、将来の自分の事業や経営に活かすためのヒントを自らが率先して吸収してきていただく講義です。シャドウイングは与えられるものを吸収してくるのではなく、自らが自発的に学びを得るスタンスを忘れず、率先して多くの事を吸収してくる場となります。

シャドウイングの実習ポイント

■ 現場を見る！

1) 人物 : ビジョン、世界観、視野、人生観、価値観
2) 事業 : ビジネスマネジメントの優位性(イノベーション、サステナブル)
3) 社会 : 受益者、社会性の実感、社員、協力者

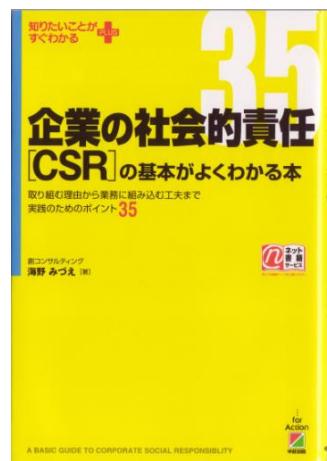
学生に何を学んでもらうか

社会起業家の理解を深めてもらいたい 価値観を変えてもらいたい

本物に出会う(本物=自信と誇り)
生き方 使命感

木物の実感 想いを知る

社会性と経済性の両立



補助教材:企業の社会的責任[CSR]の 基本がよくわかる本



特長③ 充実した起業支援の提供

【事業計画プレゼンテーション】

事業計画を全学生の前で発表します。「何のために事業(活動)を起こそうとしているのか」「それによって何を解決したいのか」など、このようなシンプルな問い合わせが明確に第三者に伝えられるよう、事業計画書を利用して発表します。考えを深堀し、事業目的とスキームを明確にすることを目的にしつつ、プレゼンテーションの方法論ではなく、自分自身の「あり方」に問い合わせをします。



【個別相談】

卒業までに完成させる「事業計画」の作成を自らが行う上で、何かの雛形や誰かが作った事業計画を真似するのではなく、自らの価値観と使命に基づいた完全オリジナルの事業計画を作成します。事業計画作成にあたって、わからない点や、客観的なアドバイスが欲しいという場合に備えて、講義以外の場として、「個別相談」の時間を定期的に設けています。個別相談を通じて、事業計画をより具体的に、そして実行可能なものに仕上げていきます。

【ピアラーニング】

社会起業大学の大きな特徴でもある「ピアラーニング」の場を用意しています。ピアラーニングとは、近年さまざまな分野で耳にするようになっている「協働」という理念に基づく学習活動方法です。仲間(peer)と学ぶ(learning)という意味から、ピアラーニングと呼ばれています。これまでの学習スタイルは「先生から生徒」というスタイルで、先生が問いかけて学生の理解の確認をしていました。しかし、ピアラーニングは生徒同士(時には講師も交えて)の対話・質問により自ら答えを見つけていくよう導くことで、主体的・自律的に学ぶスタイルです。



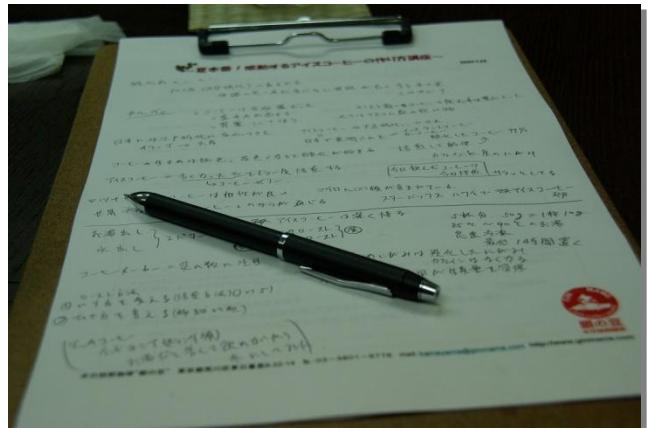
卒業後も継続する支援システム①

起業の際には、定期的な給与所得があった就業経験とは異なり、資金繰りから顧客獲得、労務管理や財務経理など、さまざまなことをマネジメントしなければならず不安になることもあります。社会起業大学では、運営事務局が学生の起業目的をじっくりと聴き、どのような問題意識をもっているのか、またどのような事業展開を考えているのか現在の状況を踏まえて、学生の学習や起業をお手伝いをします。

【設立登記サポート】

設立登記に至る、定款作成、公証人、資本の払込み、資本払込保管証明、法務局申請などの相談を承ります。

事務手続きに時間を持つことなく1日も早く事業に専念できるようサポートします。※登記に掛かる実費は、学生負担となります。



【経営支援・ビジネスマッチング】

事業を総合的に支援するため、アライアンス先の紹介、新規顧客開拓など、ビジネスパートナーの紹介を致します。人脈や経営ノウハウに不安がある方は心強い味方です。



【バーチャルオフィス】

東京都千代田区の住所を会社登記・名刺・ホームページ等に利用できるバーチャルオフィスとして利用できます。起業時にオフィスコストを掛けたくない方、自宅住所を出したくない方、地方での活動だが東京の住所で売上を上げたい方などには便利です。

【資金調達支援】

ベンチャーキャピタルへの商談をセッティングします。事業計画のプレゼンテーションのスタートラインをご用意します。

卒業後も継続する支援システム②

【人事労務コンサルティング】

起業時に気をつけたいベンチャー企業の労務管理についてサポートします。就業規則、給与規定、36協定等、煩雑な手続きを分かり易くコンサルティングします。

【人材紹介】

企業風土や事業内容を理解した上で、高いモチベーションを持った候補者をご紹介します。企業のニーズと個人の能力が合致し、双方が長期的に発展するマッチングを実現します。

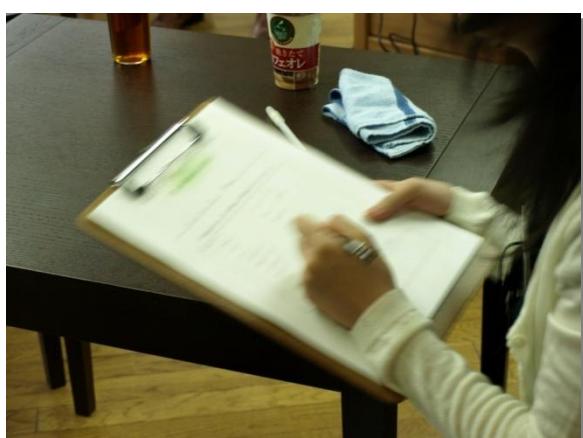
【ホームページ作成・Webマーケティング支援】

今や企業ホームページは1つの信用のバロメーターになっています。事業が円滑に進められるよう信用のあるホームページ作成の事業者、Webマーケティングの事業者を紹介します。



【各種専門分野のご相談】

弁護士、税理士、会計士など事業を継続する上で発生する諸々の課題を専門分野に応じた窓口へ紹介します。(相談費用に関しては実費が掛かる場合は、学生負担となります。)



【郵便預かり】

郵便物のお預かり、着払いサービスを承ります。

【会議室レンタル】

高い志のもとに運営されるコミュニティの活動をサポートする為の場の提供をします。集まる方々がリラックスできる空間、新たな価値を見出せる空間を目指し、木のぬくもりと光溢れるフローリングスペースと、そして、こだわりのある畳のある和室スペースを特別価格でご提供します。

専門領域に特化した3つの学部

学部制のメリットは、より近い問題意識をもつ仲間と共に学び合うことで、協働や事業連携を促進できる点です。社会起業大学は、3つの学部制を採用し、年齢・学歴・性別・経験を超えた学び合いの場を提供しています。

【地域活性・スポーツイノベーション学部】

地方自治体の財政収入の減少、過疎化の問題、伝統産業の後継者不足などの問題、シャッター街の課題、観光産業の減退など、日本の各地で地方活性化の重要性が高まっています。

地域活性・スポーツイノベーション学部では、非営利組織の経営を対象した研究分野の知見や方法論を学び、その上で「真の地域活性化とは何か」「協力者を巻き込みながら地域活性化を成功させるためのポイントは何か」について、講義やグループワーク、ディスカッションを通じて理解を深める学部です。



【総合プロジェクト学部】

現在の日本には、福祉問題、介護問題、環境問題、待機児童の問題など、様々な社会的課題が発生しています。それらの問題は、社会的に必ず解決が必要な課題であるにも関わらず、行政の対応不足や、企業が進出したくても採算が合わずに参入できないという状況です。総合プロジェクト学部では、非営利組織の経営を対象した研究分野の知見や方法論を学び、継続性を維持できるような利益の確保の方法や、真の社会貢献ビジネスについて、講義やグループワーク、ディスカッションを通じて理解を深める学部です。



【ソーシャルイノベーション学部／社会企業大学】

社会的企業の社会的役割は、NPO(NGO)や株式会社を問わず社会的課題の解決と社会システムの変革を目指すものですそのためには企業ではなく、企業・NPO(NGO)・行政とのパートナーシップでお互いが資源を持ち寄り、活動を広げるために対等性や独立性、責任のあり方を互いに認識し合いながら、社会的課題に取り組む活動が不可欠です。

ソーシャルイノベーション学部は「本業を通じた社会貢献事業」や「CRM(コース・リレーテッド・マーケティング)」を学び、協働による社会貢献事業を社内で目指す学部です。



ソーシャルビジネスグランプリ(卒業式)

【第1回ソーシャルビジネスグランプリ2010夏】

2010年8月1日、晴れ晴れしい青空の中、法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎にて、未来の社会起業家が誕生する「ソーシャルビジネスグランプリ2010夏」が開催されました。

社会起業大学の学生から選出された6名のファイナリストによるソーシャルビジネスプレゼンテーションと、「伝説のホテル」で有名なザ・レジエンド・ホテルズ＆トラスト株式会社の代表取締役CEOの鶴岡秀子様、視覚障害者に雇用を創出するNPO法人ダイアログインザダーク代表の金井伸介様のお二方から素晴らしい基調講演を頂きました。社会起業とは、どのようにしたら成り立つののかなど、参加者の皆様は真剣な顔つきで聞き入っていました。本年度から始まった本大会「ソーシャルビジネスグランプリ」は、次世代を担う未来の社会起業家たちからプランを募り、4ヶ月の学習期間を経て社会性と経済性を両立する事業計画を発表するものです。

審査は困難を極めましたが、開催者としてはうれしい悲鳴でした。会場にかけつけたオーディエンスの皆様とファイナリストの活気で満ち溢れるグランプリとなり、表彰は、共感賞、審査員特別賞、グランプリに対し行い、それぞれ賞状と副賞、記念品が贈られました。



ソーシャルビジネスグランプリ(卒業式)

【グランプリ受賞】

在宅就業障害者の雇用支援で明るく元気に暮らせる社会に～精神障害者・ひきこもりの雇用支援～
桜井正則さん(ソーシャルイノベーション学部 第1期生)

全国でひきこもりが160万人！ だが、精神障害者とひきこもりの雇用は一向に進んでいません。それをSOHOによる雇用で活性化し、当事者に明るく元気に生きていくことを支援する事業です。桜井さんの20年にわたる業界経験をから、今こそ在宅就業支援団体として起業する社会起業プランでした。審査員および来場者による圧倒的な支持を得てグランプリを得ました。

ひきこもり、うつ病などの精神障害者の就職率は48%と、身体障害や知的障害者に比べても低いのが現実です。彼らに雇用機会を提供するため、無料の就学支援を行うと同時に、企業の雇用促進を働き掛けます。

【桜井さんのコメント】

「まさか本当に思いもよらないこのような形でグランプリを頂けるとは思っていませんでした。いつも社会起業大学の仲間と皆とともに勉強していたことや、今日もたくさんの方から応援してもらったことが全て結実したと思います。しかし章をとれたから終わりというものではなく、彼ら(精神障害者)のために起業し、雇用創出のために頑張って参りたいと思います。今日、発表させて頂いたことを実行して、これからしっかりと頑張りましのでこれからも応援の程、よろしくお願い致します！」

桜井さんは涙を浮かべて挨拶し、会場からは惜しみない拍手と今後の期待に包まれました。



ソーシャルビジネスグランプリ(ファイナリストのビジネスプラン)



健康的ソーシャルスポーツ人材の育成による社会問題の解決

阿部雅行さん

メタボ人口の増加、メンタルによる機会損失、地域との関わりの希薄化による社会問題の解決を健康的ソーシャルスポーツ人材という各分野の専門的な人材育成を通じて解決を図る！



障害者と協働できるコミュニティ・レストランを開業する

ー障害者の雇用促進のためにー

中川弥生子さん

障害者の雇用を促進するために、コミュニティ・レストランを開業する。障害者就労モデルとして全国に展開することで、雇用の促進に繋げます。また、コミレスが地域の人々と精神障害者をつなげ、障害者理解を深めることに挑戦します。



日本を健康にする姿勢教育指導士の養成

碓田拓磨さん

正しく姿勢の指導ができる人材を養成する事業について発表しました。姿勢教育指導士が日本全国で活躍することで地域住民の健康に貢献し、寝たきり老人を減らし、不必要的医療費を削減することにも繋げます。



途上国の子どもたちが安心して遊べる世界へ

石島知さん

パラグアイ留学で体験したことを原体験とし、これまで学生団体World Futにて活動を行ってきました。今回のプレゼンテーションでは新たな事業創造に挑戦し、事業性にも力を入れて準備をしてきた想いをぶつけました。



社会起業大学 神戸校設立

尾崎健二さん

JR福知山線事故は尾崎さんにとって社会貢献意識のきっかけでした。誰の為に何をどうしたいのかを深掘りししたときに出了た答えが、社会起業大学を神戸に作ろうという事業でした。神戸校の卒業生が1つのキャリアとして認識されるロールモデルを創出していくプランでした。



在宅就業障害者の雇用支援で明るく元気に暮らせる社会に

～精神障害者・ひきこもりの雇用支援～

桜井正則さん

全国でひきこもりが160万人！ だが、精神障害者とひきこもりの雇用は一向に進んでいません。それをSOHOによる雇用で活性化し、当事者に明るく元気に生きていくことを支援する事業です。

ソーシャルビジネスグランプリ(特別審査員)

新井 和宏 鎌倉投信株式会社 取締役 資産運用部長

日系信託銀行、外資系運用会社を経て、2008年11月に鎌倉投信(株)を創業。企業年金・公的年金などを中心に、株式、為替、資産配分等、多岐にわたる運用業務に従事。現職では、「結い2101」の運用責任者として、日本株式の調査研究・運用手法の開発を実施。プライベートでは、障害者と一緒に楽しめるスキークラブ設立を夢にかかるスキーya。



大久保 秀夫 株式会社フォーバル 代表取締役会長兼社長／一般財団法人カンボジア国際教育支援基金 理事長

1954年東京都生まれ。国内、外資の二つの会社を経て、25歳で新日本工販株式会社(現・株式会社フォーバル)を設立。代表取締役に就任。ビジネスホンの販売を開始。電電公社(現NTT)独占の販売市場に進出。1988年、当時、日本最短記録で店頭登録銘柄(現・ジャスダック)として株式を公開。同年、社団法人ニュービジネス協議会から「第1回アントレプレナー大賞」を受賞。現在、フォーバルテレコム、フォーバルクリエーティブと、創業29年間で3つの株式会社を上場。日本ベンチャー学会理事、テレコムサービス協会理事、カンボジア国際教育支援基金理事長など。



金井 真介 ソーシャルマーケティングプロデューサー ダイアログ・イン・ザ・ダーク代表

1962年8月生。コンサルティングファームフェロー等を経て1999年からダイアログ・イン・ザ・ダークの日本開催を主宰。1993年、ウイーン発「Dialog in the Dark (DID)」を紹介した新聞記事に衝撃的に出会う。そのコンセプトに驚き、すぐさま発案者ハイネット氏に手紙を書いたことから現在に至る。その後、様々な人や働きかけた結果、99年秋、東京ピックサイトで日本への紹介を実現。その後、神戸、仙台、東京などで短期開催。すでに参加者は6万人を超える。2004年(社)日本イベント産業振興協会主催日本イベント大賞特別賞・社会貢献賞受賞並びにTBSラジオ&コミュニケーションズ社長賞受賞 2005年グッドデザインユニバーサル賞受賞 2008年 目を使わないで視覚障害者と協働開発したダイアログタオルでグッドデザイン賞受賞。DIDで視覚障害者の新しい雇用創出を実現すると共に人が対等にコミュニケーションできるソーシャルプラットフォームとしての常設を願っている。その常設準備のために東京外苑前で長期開催実験中。現在、常設場所、スポンサーを求めて日夜走り回っている。



田中 勇一 社会起業大学 理事長／リソウル株式会社 代表取締役

1969年11月生。1992年、京都大学理学部卒業後、住友銀行(現三井住友銀行)入社。1998年米国カーネギーメロン大学にてMBA取得。帰国して2年間、銀行のALM業務に携わりつつ、自分のやりたいことを探しながら悶々とした日々を過ごしたのち、ビジネススクール運営会社に思い切って転職し、人材・組織開発コンサルティング会社の立ち上げに参画。その後、経営人材の紹介をコアとする成長事業支援会社を経て、新銀行東京設立プロジェクト草創期に2年間携わり、採用統括責任者として5,000人以上の応募があつた公募採用で陣頭指揮をとり、銀行立ち上げに大きく貢献する。

現在は、リソウル株式会社を設立し、大手GMSによる銀行設立の人事業務コンサルティング、経営相談、起業支援、転職支援、カウンセリング等に取り組む。主な共著に「たかがMBAされどMBA」がある。将来の夢は理想の中高一貫教育を実践する学校の設立。



鶴岡 秀子 ザ・レジエンド・ホテルズ＆トラスト株式会社 代表取締役CEO

大手流通業に入社し1年間の店勤務を経験。その際に、一人で20人分の売上を達成し、同社の経営企画・人事企画に異動となる。その後、外資系大手コンサルティングファームで、外資系製薬企業・アミューズメントパーク、大手メーカー・大手商社などに、経営戦略及びヒューマンリソース、大手ソフト会社、ナレッジマネジメントなどのコンサルティングを行う。2000年株式会社サイバープレイズ(現 楽天リサーチ)を立ち上げ2004年に役員を退くまで、営業・提携・IR・広報をメインに活動。現在は、「伝説のホテル」を設立するためにザ・レジエンド・ホテルズ＆トラスト株式会社にて邁進中！「人に元気を与える」と評判の講演は、[流通・美容・サービス業界]はもちろんのこと、[金融・保険業界] [医療機関] [教育機関] [行政機関]といった各種業界で幅広い支持を受けている。著書に、『一人で20人分の売上！新人ツルちゃんの接客営業』、『10歳から起業すると決めていた』(ともにダイヤモンド社)。『天国体質になる！』(講談社)『夢の設計図の描き方』(フォレスト出版)がある。台湾・韓国・中国本土でも翻訳本が発売されている。



秦 倍行 國學院大學 理事および経済学部教授

1949年京都市生まれ。71年早稲田大学政治経済学部卒、74年早稲田大学大学院経済学部研究科修士科修了。同年、株式会野村総合研究所入社。証券アナリストなどを歴任の後、91年株式会社ジャフコ(旧日本合同ファイナンス)出向。海外審査部長などを歴任の後、94年國學院大學経済学部へ転職。99年米国スタンフォード大学客員研究員として留学。2001年國學院大學経済学部に復職、現職に至る。著書「IR経営戦略」「ベンチャー企業の経営と支援」「ベンチャーファイナンスの多様化」がある。一般財団法人 カンボジア国際教育支援基金(CIESF)評議員、日本ベンチャー学会理事、関東ニュービジネス協議会などでも活動中。



町井 則雄 日本財団システム統括グループ CANPAN企画推進チーム チームリーダー

1968年生まれ。神奈川大学法学部卒。1993年、日本最後のドンと呼ばれた笠川良一氏を一目見てみたいという不純な動機で日本財団に入会。新人研修として一年間、モーターボート競走の選手養成員と共に富士五湖の一つ「本栖湖」で厳しい訓練を経験。動機が動機だったため、研修後日本財団の中で自分の位置が見出せず辞表を書いた矢先に「阪神・淡路大震災」が発生。たまたまボランティア支援部に在籍していたことで、震災後すぐに現地入り。そこで出会った素晴らしい人々のお手伝いを続けようと思いつき、一方で、事務的な仕事を楽にしたい一心で部内LANを構築したにも関わらず、それが評価(?)され超多忙なIT系の部署へ…。そして、日本の公益業界を変える可能性を持つ「日本財団公益コミュニティサイト『CANPAN』」の企画・開発から携わり、今に至る。マイブログ「Yo_カッパな毎日」ツイッターID yo_cappa



授業一覧表

1. 入学式

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 入学式・基調講演・オリエンテーション(9:00-13:00)	※調整中		4月2日(土)		
2 キャリア研修「自分のミッションを発掘しよう」(14:00-20:00)	田中勇一(社会起業大学 理事長)		4月2日(土)		

ver_3.0

2. 知る授業

(1) 社会起業論(19:00-22:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 現代日本における社会的課題とソーシャルアントレプレナー			4月4日(月)	4月5日(火)	4月7日(木)
2 市民・行政・企業の協働	田口由紀絵(NPO法人パブリックリソースセンター)		4月11日(月)	4月12日(火)	4月14日(木)
3 ミッション・ペースト・マネジメント	山崎庸貴(NPO法人パブリックリソースセンター)		4月18日(月)	4月19日(火)	4月21日(木)
4 経営戦略の策定と実行			5月9日(月)	5月10日(火)	5月12日(木)

(2) 経営学基礎(19:00-22:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 起業準備と人材開発	田口由紀絵(NPO法人パブリックリソースセンター)		6月27日(月)	6月28日(火)	6月30日(木)
2 マーケティング実践論	山崎庸貴(NPO法人パブリックリソースセンター)		7月4日(月)	7月5日(火)	7月7日(木)
3 ファンドレイジングと資金調達			7月11日(月)	7月12日(火)	7月14日(木)
4 財務諸表の読み取りと作成	阿部雅行(株式会社BODY TUNE)		7月18日(月)	7月19日(火)	7月21日(木)

(3) 百年経営論(19:00-22:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 社会価値経営の全体像	鷹野秀征(ソーシャル・ウインドウ株式会社)				4月8日(金)
2 元気な社員がいる会社のつくり方	小林秀司(株式会社シェアード・リュースボーレーション 代表取締役)				4月15日(金)
3 日本でいちばん大切にしたい会社の条件とその実例	坂本光司(法政大学院政策創造研究科 教授)				4月23日(土)※
4 ワークショップ「企業訪問の観点整理	ゲスト講師(※調整中)				5月13日(金)
5 企業研究発表①					5月27日(金)
6 企業研究発表②					6月3日(金)
7 企業研究発表③					6月10日(金)
8 振り返り授業	鷹野秀征(ソーシャル・ウインドウ株式会社)				6月17日(金)
9 企業研究発表④					7月1日(金)
10 企業研究発表⑤					7月8日(金)
11 企業研究発表⑥					7月15日(金)
12 振り返り授業					7月22日(金)

(※10:00-13:00)

3. 知る授業

(1)-1 ワークショップ(地域活性・スポーツノベーション学部)(19:00-22:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 ※調整中	※調整中		5月23日(月)		
2 ※調整中	※調整中		5月30日(月)		
3 ※調整中	※調整中		6月6日(月)		
4 ※調整中	※調整中		6月13日(月)		

(1)-2 ワークショップ(総合プロジェクト学部)(19:00-22:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 ※調整中	※調整中		5月24日(火)		
2 ※調整中	※調整中		5月31日(火)		
3 ※調整中	※調整中		6月7日(火)		
4 ※調整中	※調整中		6月14日(火)		

(1)-3 ワークショップ(総合プロジェクト学部(横浜))(19:00-22:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 ※調整中	※調整中			5月26日(木)	
2 ※調整中	※調整中			6月2日(木)	
3 ※調整中	※調整中			6月9日(木)	
4 ※調整中	※調整中			6月16日(木)	

(2) オープンセミナー(13:00-17:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 ※調整中	※調整中			5月21日(土)	
2 ※調整中	※調整中			6月25日(土)	
3 ※調整中	※調整中			7月30日(土)	
4 ※調整中	※調整中				

(3) シャドウイング(日時は受け入れ機関による)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 シャドウイング実践	各受入れ機関		受入機関による		

4. 勉強授業

(1) 事業計画勉強会/経営革新勉強会(10:00-17:00)

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 自分の想いを伝えるプレゼンテーション 1回目A	田中勇一(社会起業大学 理事長)		4月9日(土)	4月16日(土)	4月9日(土)
2 自分の想いを伝えるプレゼンテーション 1回目B	中村大作(社会起業大学 学長)		5月14日(土)	5月28日(土)	4月16日(土)
3 自分の想いを伝えるプレゼンテーション 2回目A	田中勇一(社会起業大学 理事長)		6月11日(土)	6月18日(土)	6月11日(土)
4 自分の想いを伝えるプレゼンテーション 2回目B	中村大作(社会起業大学 学長)		7月9日(土)	7月16日(土)	6月18日(土)

5. 卒業式

講義テーマ	講師	地域・スポーツ	総合	総合(横浜)	百年経営
1 ソーシャルビジネスグランプリ 2011冬 予選会(19:00-22:00)	活動支援タスクフォース		8月1日(月)	8月2日(火)	8月4日(木)
2 ソーシャルビジネスグランプリ 2011冬 セミファイナル(9:00-17:00)	活動支援タスクフォース			8月6日(土)	
3 ソーシャルビジネスグランプリ 2011冬 ファイナル(9:00-20:00)	活動支援タスクフォース			8月7日(日)	

時間割表

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
地域活性・スポーツ イノベーション学部		総合プロジェクト学部		総合プロジェクト学部 (横浜校)		百年経営学部		百年経営学部		共通		休憩授業	
1週目	3月28日週 4/4	3/28 夜間:社会起業論① 講師:	3/29 夜間:社会起業論① 講師:	3/30 4/6 夜間:社会起業論① 講師:	3/31 4/7 夜間:社会起業論① 講師:	4/1 4/8 夜間:百年経営論① 講師:	4/9 終日:事業計画勉強会① 講師:	4/9 終日:事業計画勉強会① 講師:	4/10 4/16 終日:事業計画勉強会② 講師:	4/17 午前:体験授業 午後:体験授業	4/18 午前:体験授業 午後:体験授業	4/19 午前:体験授業 午後:体験授業	
2週目	4月4日週 4/11	4/4 夜間:社会起業論② 講師:	4/12 夜間:社会起業論② 講師:	4/13 4/14 夜間:社会起業論② 講師:	4/15 夜間:百年経営論② 講師:	4/16 4/23 夜間:百年経営論③ 講師:	4/23 終日:経営革新勉強会① 講師:	4/24 終日:経営革新勉強会① 講師:	4/25 午前:オープンセミナー① 講師:	4/26 午後:財務講座 講師:	4/27 午前:体験授業 午後:体験授業	4/28 午前:財務講座 講師:	
3週目	4月11日週 4/18	4/11 夜間:社会起業論③ 講師:	4/19 夜間:社会起業論③ 講師:	4/20 4/21 夜間:社会起業論③ 講師:	4/22 夜間:百年経営論③ 講師:	4/23 4/24 夜間:百年経営論④ 講師:	4/24 終日:経営革新勉強会② 講師:	4/25 午後:オープンセミナー② 講師:	4/26 午前:体験授業 午後:体験授業	4/27 午前:体験授業 午後:体験授業	4/28 午前:体験授業 午後:体験授業	4/29 午前:体験授業 午後:体験授業	
4週目	4月18日週 5/2	4/18 夜間:社会起業論④ 講師:	4/25 夜間:ワークショップ① 講師:	4/26 夜間:ワークショップ① 講師:	4/27 夜間:ワークショップ① 講師:	4/28 夜間:ワークショップ① 講師:	4/29 夜間:百年経営論⑤ 講師:	4/30 終日:事業計画勉強会② 講師:	5/1 午前:体験授業 午後:体験授業	5/2 午前:体験授業 午後:体験授業	5/3 午前:体験授業 午後:体験授業	5/4 午前:体験授業 午後:体験授業	
休講	4月25日週 5月2日週												
5週目	5月9日週 5/16	5/9 夜間:社会起業論④ 講師:	5/10 夜間:社会起業論④ 講師:	5/11 5/12 夜間:社会起業論④ 講師:	5/13 夜間:百年経営論④ 講師:	5/14 5/21 夜間:百年経営論④ 講師:	5/14 終日:事業計画勉強会② 講師:	5/15 終日:事業計画勉強会② 講師:	5/16 午前:体験授業 午後:体験授業	5/17 午前:体験授業 午後:体験授業	5/18 午前:体験授業 午後:体験授業	5/19 午前:体験授業 午後:体験授業	
6週目	5月16日週 5/23	5/16 夜間:ワークショップ④ 講師:	5/23 夜間:ワークショップ④ 講師:	5/24 夜間:ワークショップ④ 講師:	5/25 5/26 夜間:ワークショップ④ 講師:	5/27 夜間:百年経営論⑤ 講師:	5/28 終日:事業計画勉強会② 講師:	5/29 終日:事業計画勉強会② 講師:	5/30 午前:体験授業 午後:体験授業	5/31 午前:体験授業 午後:体験授業	6/1 午前:体験授業 午後:体験授業	6/2 午前:体験授業 午後:体験授業	
7週目	5月23日週 5月30日週												
8週目	5月30日週 6月6日週	5/30 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/1 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/2 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/3 夜間:百年経営論⑥ 講師:	6/4 6/11 夜間:百年経営論⑥ 講師:	6/4 終日:事業計画勉強会② 講師:	6/5 6/12 午前:体験授業 午後:体験授業	6/6 午前:体験授業 午後:体験授業	6/7 午前:体験授業 午後:体験授業	6/8 午前:体験授業 午後:体験授業	6/9 午前:体験授業 午後:体験授業	
9週目	6月6日週 6月13日週	6/6 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/13 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/7 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/8 6/9 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/10 6/11 夜間:百年経営論⑦ 講師:	6/11 終日:事業計画勉強会③ 講師:	6/12 6/13 午前:体験授業 午後:体験授業	6/13 午前:体験授業 午後:体験授業	6/14 午前:ワークショップ④ 講師:	6/15 午前:ワークショップ④ 講師:	6/16 午前:ワークショップ④ 講師:	
10週目	6月13日週 6月20日週	6/13 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/20 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/14 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/21 6/22 夜間:ワークショップ④ 講師:	6/23 6/24 夜間:百年経営論⑧ 講師:	6/24 終日:事業計画勉強会③ 講師:	6/25 6/26 午前:体験授業 午後:体験授業	6/25 午前:体験授業 午後:体験授業	6/26 午前:体験授業 午後:体験授業	6/27 午前:体験授業 午後:体験授業	6/28 午前:体験授業 午後:体験授業	
11週目	6月20日週 6月27日週												
12週目	6月27日週 7月4日週	6/27 夜間:経営学基礎① 講師:	6/28 夜間:経営学基礎① 講師:	6/29 6/30 夜間:経営学基礎① 講師:	6/31 7/1 夜間:百年経営論⑨ 講師:	7/1 7/2 夜間:百年経営論⑨ 講師:	7/2 終日:経営革新勉強会③ 講師:	7/3 7/13 午前:体験授業 午後:体験授業	7/3 7/14 午前:体験授業 午後:体験授業	7/4 7/15 夜間:百年経営論⑩ 講師:	7/5 7/16 夜間:百年経営論⑩ 講師:	7/5 7/17 夜間:百年経営論⑩ 講師:	
13週目	7月4日週 7月11日週	7/4 夜間:経営学基礎② 講師:	7/5 夜間:経営学基礎② 講師:	7/6 7/7 夜間:経営学基礎② 講師:	7/8 7/9 夜間:百年経営論⑪ 講師:	7/9 7/10 夜間:百年経営論⑪ 講師:	7/10 7/11 午前:体験授業 午後:体験授業	7/10 7/12 午前:体験授業 午後:体験授業	7/11 7/13 夜間:経営学基礎③ 講師:	7/12 7/14 夜間:経営学基礎③ 講師:	7/12 7/15 夜間:百年経営論⑪ 講師:	7/13 7/16 夜間:百年経営論⑪ 講師:	
14週目	7月11日週 7月18日週	7/11 夜間:経営学基礎③ 講師:	7/12 夜間:経営学基礎③ 講師:	7/13 7/14 夜間:経営学基礎③ 講師:	7/15 7/17 夜間:百年経営論⑪ 講師:	7/15 7/17 夜間:百年経営論⑪ 講師:	7/16 7/18 夜間:百年経営論⑪ 講師:	7/16 7/19 午前:体験授業 午後:体験授業	7/17 7/19 夜間:経営学基礎④ 講師:	7/18 7/20 夜間:経営学基礎④ 講師:	7/18 7/21 夜間:百年経営論⑫ 講師:	7/19 7/22 夜間:百年経営論⑫ 講師:	
15週目	7月18日週 7月25日週	7/18 夜間:経営学基礎④ 講師:	7/19 夜間:経営学基礎④ 講師:	7/20 7/21 夜間:経営学基礎④ 講師:	7/22 7/24 夜間:百年経営論⑫ 講師:	7/22 7/24 夜間:百年経営論⑫ 講師:	7/23 7/25 午前:体験授業 午後:体験授業	7/23 7/26 午前:体験授業 午後:体験授業	7/24 7/26 夜間:経営学基礎⑤ 講師:	7/25 7/27 夜間:経営学基礎⑤ 講師:	7/25 7/27 夜間:百年経営論⑬ 講師:	7/26 7/28 夜間:百年経営論⑬ 講師:	
16週目	7月25日週 8月1日週												
17週目	8月1日週 8/1	8/1 夜間:ソーシャルビジネスグランプリ 〔予選会〕	8/2 夜間:ソーシャルビジネスグランプリ 〔予選会〕	8/3 夜間:ソーシャルビジネスグランプリ 〔予選会〕	8/4 夜間:ソーシャルビジネスグランプリ 〔予選会〕	8/5 夜間:ソーシャルビジネスグランプリ 〔予選会〕	8/6 夜間:ソーシャルビジネスグランプリ 〔ファイナル〕	8/7 午後:ソーシャルビジネスグランプリ 〔ファイナル〕					

※午前クラス 10:00～13:00、午後クラス 14:00～17:00、夜間クラス 19:00～22:00

※授業詳細/月・火・木

地域活性・スポーツイノベーション学部/総合プロジェクト学部

社会起業論① 現代日本における社会的課題とソーシャルアントレプレナー(事例研究)
社会起業論② 市民・行政・企業の協働(事例研究)
社会起業論③ ミッション・ペースト・マネジメント(第1章・第2章)
社会起業論④ 経営戦略の策定と実行(第3章・第8章)

経営学基礎① 起業準備と人材開発(第9章・第5章)

経営学基礎② マーケティング実践論(第7章)

経営学基礎③ ファンドレイジングと資金調達(第4章)

経営学基礎④ 財務諸表の読み取りと作成(第6章)

※授業詳細/金

百年経営学部

百年経営論① 社会価値経営の全体像
百年経営論② 元気な社員のいるつくり方
百年経営論③ 日本でいちばん大切にしたい会社の実例と条件
百年経営論④ ワークショップ/企業訪問の観点整理

百年経営論⑤～⑦ 企業研究発表①～⑥

百年経営論⑧ 振り返り発表

百年経営論⑨～⑪ 企業研究発表①～⑥

百年経営論⑫ 振り返り発表

※1 欠席の場合、事前申請すれば同講義の補講が可能です。

※2 学部が違うワークショップについては聴講が可能です。

※受講例

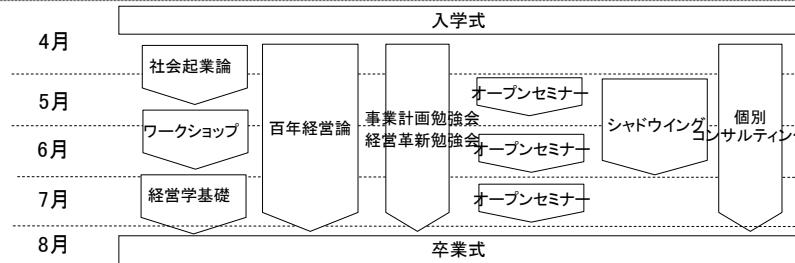
専門科目

共通科目

- (月) 地域活性・スポーツイノベーション学部
- (火) 総合プロジェクト学部
- (木) 総合プロジェクト学部(横浜校)
- (金) 百年経営学部

- +
- +
- +
- +

※カリキュラム進行



入学定員制・学期制の採用／解約・返金システム

【入学定員制】

社会起業大学では、学習環境のクオリティを保つため、入学定員制を設けています。そのため、定員に達している期間は入学不可となります。

＜地域活性・スポーツイノベーション学部＞

1クラス20名

＜総合プロジェクト学部＞

1クラス20名

＜ソーシャルイノベーション学部／社会企業大学＞

1クラス20名

※申込は順次、満席になり次第、受付を終了します。



【学期制】

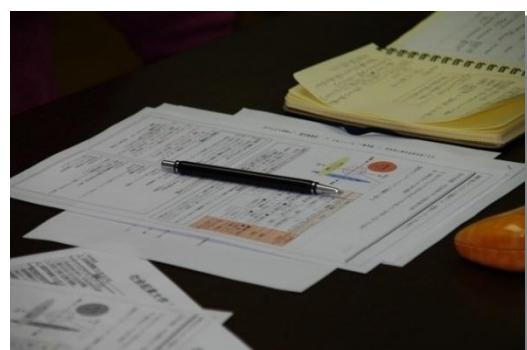
社会起業大学では、学期制を採用しています。その学期制は、開校から累計で1期生・2期生と呼称し、カリキュラムスタートの日程を設けています。入校日は毎年4月と10月となっています。入学定員制も設けていますので、ご希望の入学タイミングがありましたら、お早めにお手続きください。



【解約】

入学手続き終了後で入学前の解約の場合、入学金を除き全額返金します。(振り込み手数料は学生負担となります。)

また、入学後の解約については、いかなる理由においても納入した学習プログラム料金は返金できません。



学生募集要項

【申し込み方法】

■ 春学期

申し込み締め切り 一次 2010年1月20日

二次 2010年2月20日

最終 2010年3月23日

入学式 2010年4月3日

卒業式 2010年8月1日

■ 秋学期

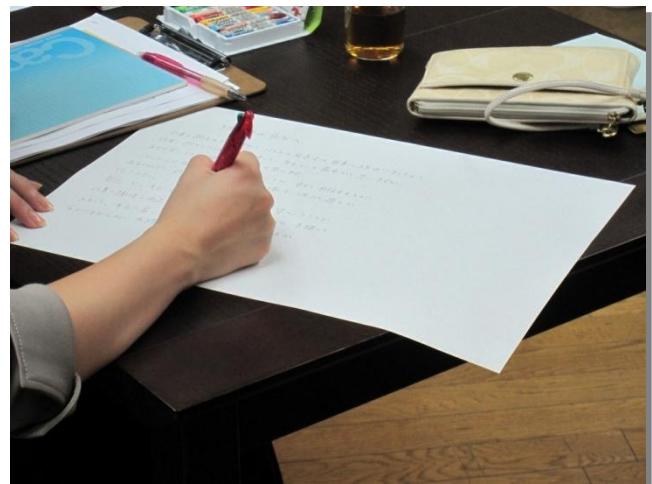
申し込み締め切り 一次 2010年6月21日

二次 2010年7月20日

最終 2010年 8月23日

入学式 2010年10月 2日

卒業式 2011年 2月 6日



【学费】

■ 地域・スポーツ学部／総合プロジェクト学部

学習プログラム 350,000円

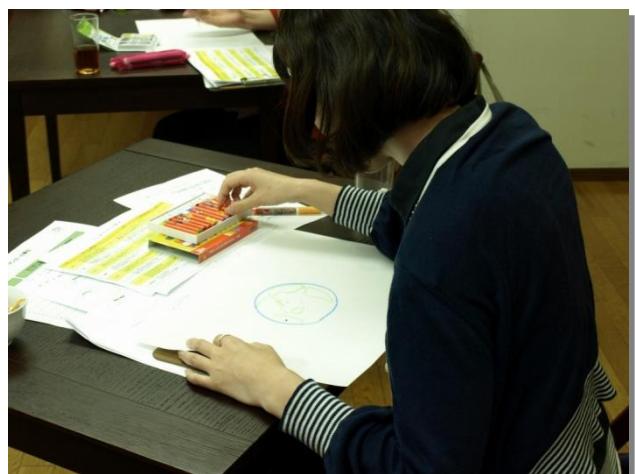
(先着30名の特別価格)
【正規学費は450,000円】

内訳: 入学金 100,000円
授業料 250,000円

■ソーシャルノベーション学部

学習プログラム 450,000円

内訳: 入学金 100,000円
授業料 350,000円



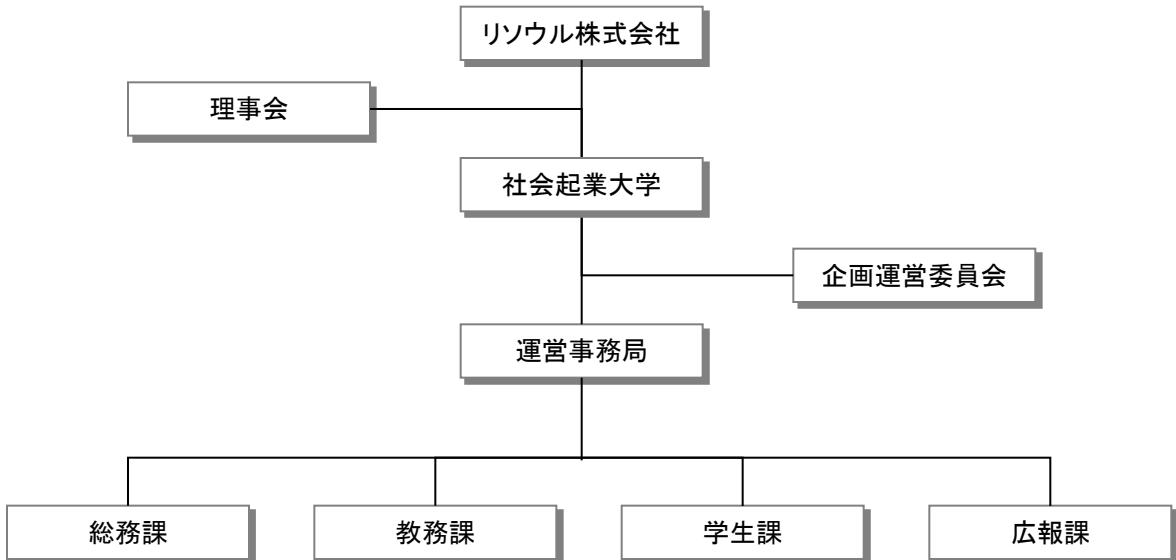
他校比較

学習プログラム料金を総時間数で割った、1時間当たりの学習費用を下表の通り換算しました。社会起業大学はソーシャルアントレプレナー育成に特化したビジネススクールとして唯一の学校ですが、起業塾などの従来のアントレプレナー育成の学校を費用比較すると、学費面においても優位性が明らかになりました。

学校名	1時間における受講料
I 校 (入学金5万+受講料15万)／96時間	1位 ¥2,083 ※政策提言に重きをおいた学校なので、 正確には比較検討外としています。 あくまで参考としています。
社会起業大学 (入学金10万+受講料25万)／116時間	2位 ¥3,017
J 校 (入学金3万+受講料9万)／20時間	3位 ¥6,000
A 校 (入学金3万+受講料16万)／24時間	4位 ¥7,916
J 校 (入学金3万+受講料15万)／22時間	5位 ¥8,181
A 校 (入学金3万+受講料36万)／21時間	6位 ¥18,571

※総金額／受講時間で比較

運営体制について① / 組織図



■リソウル株式会社

社会起業大学の運営会社です。起業支援を1つの「キャリア教育」と捉え、一人ひとりの自己実現を支援します。

■理事会

学校運営・予算執行等、経営に関わる範囲において事業の経営をしています。

■企画運営委員会

リソウル株式会社と特定非営利活動法人パブリックリソースセンターで構成し、授業内容の充実化について協議しています。

■運営事務局

社会起業大学の運営における統括をしています。代表連絡先は、office@socialvalue.jpです。
お気軽にお問い合わせください。

■総務課

社会起業大学が円滑に運営されるよう、社会起業大学に関する事務を扱います。関係省庁・自治体・公的機関と連携を取りながら、学校運営を支えています。

■教務課

カリキュラム編成や授業内容の向上、教材開発や学習成果の管理を行っています。日々、学生の学習が社会起業家支援に直結するよう活動しています。

■学生課

入学希望者に対して学校説明会や各種イベントを開催します。在校生には円滑に学習が進むように、卒業生には卒業後に幅広く活動ができるよう、コミュニティ活動を通じてサポートします。

■広報課

社会起業大学の各種取材対応や広報活動を行います。また、学生の学習成果や卒業後の活動を広く一般的に告知することにより、積極的に市民活動の活性化を図ります。

運営体制について② / 理事会(理事・顧問)

【NPO分野】



久住 剛 (くすみ つよし)

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター 代表理事。
1980年明治大学卒業。1999年ニューヨーク大学ロバート・ワグナー校公共政策・NPOマネジメント修士課程修了。神奈川県職員としての勤務のかたわら、日本ネットワーカーズ会議、市民セクター支援研究会などの場で、市民活動、NPO支援システム、行政とNPOの協働、企業の社会性(CSR)、自治システム等に関する調査研究及び実践に長年携わる。1986年自治体学会創設に参画。1996年日本NPOセンター創設に参画。1997年よりニューヨーク大学大学院において「行政とNPOの協働」を中心に研究。2000年NPO法人パブリックリソースセンター創設に参画、代表理事。2003年NPO法人自治創造コンソーシアム創設に参画、常務理事。横浜国立大学非常勤講師(2007年～)。

【ベンチャーフィールド】

松田 修一 (まつだ しゅういち)

早稲田大学大学院商学研究科 ビジネス専攻(ビジネススクール) 教授

研究分野 経営監査論・技術ベンチャー輩出論

所属学会 日本ベンチャー学会(前会長・理事)

危機管理システム研究会(理事)

ビジネスモデル学会(理事)

職歴 1973年 監査法人サンワ事務所(現監査法人トーマツ)入所
(企業調査、ベンチャービジネスの経営支援、
上場準備会社の監査、企業内研修等に従事)

1986年 監査法人サンワ事務所退所
早稲田大学アジア太平洋研究センター
(旧システム科学研究所)
助教授:ビジネススクール担当

1991年 早稲田大学アジア太平洋研究センター教授

1993年 早稲田大学アントレプレナーネル研究会代表理事(現任)

1996年 早稲田大学学外連携推進室長

1998年 早稲田大学ビジネススクール
経営大学院(国際経営学専攻)教授
早稲田大学ビジネススクール
経営専門職大学院(MOT担当)教授

2007年 早稲田大学大学院商学研究科(ビジネススクール)教授 (現在)



運営体制について② / 理事会(理事・顧問)

【起業分野】



吉田 雅紀（よしだ まさき）

株式会社あきない総合研究所 代表取締役。1954年兵庫県生まれ。同志社大学商学部卒業、同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程前期修了。1996年より経営コンサルタントとして、起業、ベンチャービジネスのスタートアップを専門に成長戦略の構築・支援に携わりながら、講演活動、寄稿、論文などの活動も行う。大阪産業創造館「あきない・えーど」所長を経て、「起ちあがれニッポンDREAM GATE」の総合プロデューサーを歴任。2005年4月からは、関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科の教授としても教壇に立つ。中小企業診断士。起業家支援部門経済産業大臣賞受賞(2003年)。

大久保 秀夫（おおくぼ ひでお）

株式会社フォーバル 代表取締役会長兼社長

一般財団法人カンボジア国債教育支援基金 理事長

1954年東京都生まれ。国内、外資の二つの会社を経て、25歳で新日本工販株式会社(現・株式会社フォーバル)を設立。代表取締役に就任。ビジネスホンの販売を開始。電電公社(現NTT)独占の販売市場に進出。1988年、当時、日本最短記録で店頭登録銘柄(現・ジャスダック)として株式を公開。同年、社団法人ビジネス協議会から「第1回アントレプレナービジネス大賞」を受賞。現在、フォーバルテレコム、フォーバルクリエーティブと、創業29年間で3つの株式会社を上場。日本ベンチャー学会理事、テレコムサービス協会理事、カンボジア国際教育支援基金理事長など。



運営体制について② / 理事会(理事・顧問)

【学術分野】

秦 信行 (はた のぶゆき)

國學院大學理事および経済学部教授。1949年京都市生まれ。71年早稲田大学政治経済学部卒、74年早稲田大学大学院経済学部研究科修士科修了。同年、株式会野村総合研究所入社。証券アナリストなどを歴任の後、91年株式会社ジャフコ(旧日本合同ファイナンス)出向。海外審査部長などを歴任の後、94年國學院大學経済学部へ転職。99年米国スタンフォード大学客員研究員として留学。2001年國學院大學経済学部に復職、現職に至る。著書「IR経営戦略」「ベンチャー企業の経営と支援」「ベンチャーファイナンスの多様化」がある。一般財団法人 カンボジア国際教育支援基金(CIESF)評議員、日本ベンチャー学会理事、関東ニュービジネス協議会などでも活動中。



坂本 光司 (さかもと こうじ)

1970年 法政大学経営学部卒業。静岡文化芸術大学文化政策学部・同大学院教授等を経て、法政大学大学院政策創造研究科教授・同経営大学院(MBAコース)兼任教授。ほかに、中小企業庁経営革新制度評価委員会委員長等、国・県・市町村の公務も多数務める。専門は中小企業経営論・地域経済論・地域産業論。1987年出版の「円高、国際化と地域産業」(静岡新聞社)で、中小企業研究奨励賞本賞を受賞。著書に「日本でいちばん大切にしたい会社」(あさ出版 2008年)、他60冊以上。

運営体制について② / 理事会(理事・顧問)

【社会起業分野】

横石 知二（よこいし ともじ）

株式会社いろどり 代表取締役社長

1958年9月28日生まれ。1979年3月徳島県農業大学校卒業。同年4月、上勝町農業協同組合へ営農指導員として入社。1981年以降、16年連続して農産物の売り上げを伸ばす。1986年、彩を開発し、1991年特産品開発室長に就任。山の資源を生かした商品開発で全国的な注目を浴びる。1996年4月、上勝町に転籍。産業情報センターと株式会社いどりの責任者として彩をはじめ、特産品の企画販売を行う。同年、高齢者が使える情報ネットワークシステムを開発。2002年4月、役場を退職派遣で株式会社いどりの取締役に就任。2005年4月、放送の奇跡体験アンビリーバボーでは過疎と高齢化に悩む町を再生させた再現ドラマが放送された。2005年5月、代表取締役副社長に就任。2007年7月、「News Week(日本版)」世界を変える社会起業家100人に選出される。2009年5月、代表取締役社長に就任。



山口 洋(やまぐち ひろみ)

株式会社JPホールディングス 代表取締役

日本こども育成協議会 副会長

社会福祉法人アスクこども育成会 理事長

1961年京都市生まれ。明治学院大学法学部卒業。大和證券に入社後、法人営業やM&Aの分野で腕を奮う。1992年、退職。1993年、当社設立。2006年3月、聖徳大学大学院博士前期課程修了(児童学)。2008年9月、厚生労働省による次世代育成支援のための新たな制度体系の設計に関する保育事業者検討会の委員に選出される。2009年4月、内閣府「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」のテーマ「保育・幼稚教育」の有識者として選出される。

東京都「東京都認証保育所見直し検討会」の委員、志木市「児童福祉審議会」の委員に選出される。世田谷区「保育施設における質の向上についての勉強会」のメンバーを務める。2009年11月、経済産業省「第5回成長戦略検討会議」に有識者として選出され出席

2010年4月、内閣府「子ども・子育て新システム検討会議」に有識者として選出され出席。

〈執筆〉

書籍「子育て支援ビジネス事業化計画資料集」/ 総合ユニコム

運営体制について③ / 企画運営委員会



【企画運営委員会】

企画運営委員会は、多様なメンバーを迎え、「社会起業家を多数輩出するためにどうしたら良いか」「社会起業大学をさらに発展させるためにはどのような施策を行っていくか」「社会からのニーズに応えるにはどのような大学にしていくのが良いか」など、社会起業大学の設立にあたって、貴重な意見を交換し合う場として設置された重要な機関です。

企画運営委員会はリソウル株式会社と特定非営利活動法人パブリックリソースセンターで構成し、授業内容の充実化について協議する機関です。学校運営・予算執行等、経営に関わる範囲においては、リソウル株式会社の一事業の経営責任として運営しています。

【パブリックリソースセンター】

寄付文化を創造するための調査研究、オンライン寄付サイトGive Oneの運営、非営利組織のコンサルティング。NPOマネジメント支援コンサルタント要請講座の実施のほか、SRI(社会的責任投資)のための企業評価やCSR(企業の社会的責任)調査等を実施しています。

2000年に設立以来、非営利の中立の実践型シンクタンク・コンサルティングファームとして、数多くの社会的起業の調査研究、そしてNPOコンサルティング育成のためのセミナー開催・書籍の発行を手がけるなど、非営利組織論に関して日本では先進的かつ多くの実績をもつ法人です。

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター

会社概要

名称	リソウル株式会社 (英記: RE SOUL. , Ltd.)
住所	東京都千代田区二番町5番 麻町駅プラザ8階・9階
設立	2002年5月
資本金	2,000万円
事業内容	人事採用コンサルティング 人材開発支援(社員向けセミナー、研修) 人材紹介・育成派遣 個人事業主・独立支援 キャリア・デベロップメント支援 リソウル麹町ROOM運営 キャリアトレーニングスクール運営 社会起業大学運営
URL	http://www.resoul.jp/
許認可	職業紹介許可番号 13-ユ-302140 人材派遣許可番号 特13-304816
役員	代表取締役 田中 勇一 取締役 中村 大作
取引銀行	三井住友銀行 麻町支店
主な取引先	(株)イオン銀行、(株)テレビ東京、楽天(株)、マークス(株)、マイクロソフト(株)、日本エイサー(株)、(株)カタロード、NSフィナンシャルマネジメントコンサルティング(株)、HSBC(香港上海銀行)、トゥルーバグループホールディングス(株)、(株)ジュピターテレコム、(株)アーバンネットワークなど(順不同、敬称略)



for your personal mastery

SOUL

セイジラボ

リクルート

合規監査

代理メッセージ

個人向けセミナー

お問い合わせ

個人向けサービス

就職活動ではなく、尚ほらしい豊かなキャリアを実現するためには

- キャリア相談サービス
- 個人事業主・独立支援
- キャリア・ヘロウメント支援
- リクルート転職 ROOM

キャリア教育サービス

- キャリアトレーニングスクール



みんなのキャリア物語

Success story

すてきな社長達からのメッセージ

Message

セミナー情報

Seminar

トピックス

Topics

マーチャンダイザー・バイヤー
中山 品子 氏

感謝の心がチャンスを引き寄せ
る

登壇講師△

株式会社マネジメントソリューション
代表取締役 高橋 信也 氏

知行合一は一日にしてならず

登壇講師△

上司、同僚、相手...より高いドロップオーナメント

new [CHECK](#)

日時：2015年1月28日(木) 13:30～

年に1回もひとり残り開拓のヒントが尋ねられま
す
場所：リクルート転職 ROOM
主催：キャリアトレーニングスクール

カドミヤで就業者を雇用している、キャリアトレーニングスクールの棟もいろいろ

■2009/11/19 北京田中第一のプロジェクト由田の創設アフターミーティング

■2009/05/07 新規会員登録サービス(アソシエーション)を開始!

■2009/03/01 田中第一の記念が掲載されました

[RSS](#)

代表取締役からのメッセージ



今こそ、自分らしく生きることが求められています。

先行きが不透明な現在、頼るべきは自分の中にある確固たる判断基準、自分が何に価値を感じ、どんなことにやりがいを感じるのか、自分の得意なことは何か、それを突き詰めていくことが、自分らしくより良いキャリアにつながっていきます。

一方、企業は、これから時代において、社員一人一人の個性を最大限に生かすことが出来なければ生き残れなくなっています。これまでのように、物質的な報酬だけでは、社員のモチベーションを上げることはできません。給与や役職だけではない社員のやる気の素=精神的な報酬を注意深く探るため、対話に十分に時間をかけ、社員の自己実現に対応できる柔軟な制度を策定する必要があります。

リソウルは、個人が自身の素晴らしい価値や可能性に気づき自分らしい豊かなキャリアを獲得できるよう、必要な知識の習得や実践の機会を提供していきます。同時に、企業が、自分の価値に目覚めた個人の能力を最大限活かせるような組織作りを行えるよう、サポートしてまいります。

時代の大変革期である今、是非とも私達と共に個人も企業も元気になり、日本経済をそして世界経済を可能性が満ち溢れた素晴らしいものにしていきましょう。そして、次世代を担う子供たちが、夢や希望を心に抱き、自らの可能性を信じて生き生きと過ごせる環境を私たちの手で築いていきましょう。

リソウル株式会社
代表取締役

田中 勇一

＜田中勇一プロフィール＞

1969年11月生。1992年、京都大学理学部卒業後、住友銀行(現三井住友銀行)入社。1998年米国カーネギーメロン大学にてMBA取得。帰国して2年間、銀行のALM業務に携わりつつ、自分のやりたいことを探しながら悶々とした日々を過ごしたのち、ビジネススクール運営会社に思い切って転職し、人材・組織開発コンサルティング会社の立ち上げに参画。その後、経営人材の紹介をコアとする成長事業支援会社を経て、新銀行東京設立プロジェクト草創期に2年間携わり、採用統括責任者として5,000人以上の応募があった公募採用で陣頭指揮をとり、銀行立ち上げに大きく貢献する。現在は、リソウル株式会社を設立し、大手GMSによる銀行設立の人事業務コンサルティング、経営相談、起業支援、転職支援、カウンセリング等に取り組む。主な共著に「たかがMBAされどMBA」がある。将来の夢は理想の中高一貫教育を実践する学校の設立。

よくある質問①

Q 起業を考えていなければ入校できないのでしょうか。

A 事業計画書を作成することを修了要件としていますが、実際の起業は修了の要件になっていません。

本学の学生は、起業を目指すためだけでなく、企業や団体等の組織に属して組織の改革や新規の事業立案を目指す方も多いいらっしゃいます。起業することが修了の絶対条件ではありません。

Q 年齢制限はあるのでしょうか。

A 18歳以上に該当する方であれば問題ありません。



Q どのような人が入校するのでしょうか？

A 社会起業大学はその性質上、社会起業（ソーシャルビジネス）に興味関心がある方が多くなる傾向にあります。そして、社会起業家になりたい！という想いをもった方も多いです。男女や年齢、職業を問わず、多様なバックグラウンドと想いを持った、志ある方からのお問い合わせを多くいただいております。



Q 会社に勤めながらでも通えるのでしょうか？

A 会社にお勤めの方でも通っていただけるよう、社会起業大学の講義は、平日19:00～、週末(土曜日)に講義を行っております。



Q 卒業後のフォローはありますか？

A 社会起業大学では、在学中に最大限の知識の習得と実践の場を提供しておりますが、卒業後も、希望される方に対しては起業支援の体制を整っております。

また、卒業生や在校生とのコミュニケーションの場を設け、意見交換や相談ができるような体制を整っております。

Q 入学時期や在学期間について教えてください。

A 社会起業大学は、4月と9月の年に2回、入学の機会を設けております。在学期間は4ヶ月間となります。(4月入学の場合は7月卒業、9月入学の場合は12月卒業)

よくある質問②



Q 社会起業大学は、学校教育法で定められた正規の大学ですか？

A 社会起業大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進するビジネススクールです。

Q 通学にあたって、服装の既定はありますか？

A 特に服装の規程は設けておりません。しかし、多くの学生と共に学習しますので、学習に適した服装にご留意ください。

Q 学習プログラム費用には教科書代は含まれますか？

A お支払いいただく学習プログラムの費用には、教科書代は含まれません。その他、含まれないものの一例を記載致します。(詳細はお申し込み時の約款を必ずご確認ください)

- 当校までの移動費用、交通費
- 当校以外で実施される課外授業、ボランティア、インターンシップ参加の為の交通費
- ローンご利用の際のローン手数料
- 個人的性質の諸費用(電話・通信費、コピー代、参考文献の購入代等)

Q 仕事や学校の都合で講義を欠席した場合のフォローアップ体制はありますか？

A お仕事の都合等で、どうしても講義を欠席せざるを得ない場合には、個別にご相談いただく事で、再受講の機会を提供させていただけるよう、配慮致します。

Q どの学部に入学すれば良いのかわかりません。

A 社会起業大学では、3つの学部を設けています。それぞれの学部ごとに特徴がありますので、一度ご相談にお越しいただくことをお薦め致します。

Q 入学試験はあるのでしょうか？

A 学力テストなどの入学試験は行いません。但し、入学申込の際に入学の動機や将来への想い等を書いていただき、提出していただきます。お申し込み書については、随時ダウンロードできるようになっておりますので、実際にご確認いただくことをお薦め致します。



よくある質問③

• •



Q 社会起業大学の運営母体を教えてください。

A 社会起業大学は、リソウル株式会社が一事業として企画運営しております。

Q 学習プログラム料金の支払い方法について教えてください。

A お支払いについては、指定の口座まで指定日までに一括で現金にてお振り込みをお願い致します。

Q 学習プログラム料金の分割支払いには対応していただけますか？

A 大変申し訳ございませんが、分割でのお支払いについては原則として対応致しておりません。しかしながら、学習意欲が大変高いにも関わらず、事情により一括でお支払いいただく事が困難な場合は、個別のご相談の機会を設けさせていただきます。

Q 卒業試験はありますか？

A 卒業にあたって、試験はありませんが、ビジネスプランの発表を行っていただきます。発表していただいたビジネスプランの内容を審査し、卒業を認定致します。

社会起業大学 入学申込書

事務局 記入欄	申込確認	入金確認	入力確認

学部選択 (いずれかに○をしてください。)	1、地域活性・ スポーツイノベーション学部 367,500円 (年 月入学)	2、総合プロジェクト学部 367,500円 (年 月入学)	3、ソーシャルイノベーション学部 472,500円 (年 月入学)	(写真) 4×3cm 白黒・カラー どちらでも可。 裏面に氏名を記入。
ふりがな			性別	
氏名			男 · 女	
ふりがな				
住所	〒			
生年月日	19 年 月 日 (歳)	メールアドレス		
電話番号	PCメール :			
携帯電話番号	携帯メール :			
FAX番号	職業			
勤務先 (学校名)	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 契約社員 <input type="checkbox"/> 派遣社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> フリーター <input type="checkbox"/> 定年 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 ()			
業種・職種 (学部・学科)				
ふりがな				
勤務先(学校) 住所・電話番号	〒 TEL:			
社会起業大学までの 通学時間	勤務先(学校)から	自宅から		
ご経歴 (書式自由)				
お申込書送付先 お振込先	FAXまたは郵送にてお送りください。 FAX:03-5356-6181 社会起業大学 入学受付係 〒102-0084 東京都千代田区二番町5番 麻布駅プラザ9階 三井住友銀行 麻布支店 (普通) 8975953 リソウル株式会社 社会起業大学 お振込み金額 : 367,500円 / 472,500円 ※入学申込書受領後、3日以内にご入金頂きますようお願いいたします。			

※裏面もご記入ください。

